

## ■「2022年夏。家族を襲ったコロナ様症状から回復体験」

日本ホメオパシーセンター大阪都島  
JPHMA 認定ホメオパス No.1025  
ZEN メソッド修得認定 No.0460  
高島 よしのり(たかしま よしのり)

### はじめに

2022年8月に家族全員がコロナ様症状を発症したときの体験談です。

家族構成は、夫婦で認定ホメオパスです。子どもは高校生と小学生の2人。子ども達は小さい頃からホメオパシーのレメディーを使っています。

発症後の症状は、人によって違うため体験談として参考にしてもらえればと思います。

### 状況

2022年夏。旅行する人が増え、私達も2泊3日の旅行をしました。旅行中は元気に過ごしていました。

帰宅後2~3日の間に私→妻→子ども達の順番に倦怠感、体温38℃以上、体中の痛みを発症。コロナ様症状を発症しました。体温が上がると何も考えられず、動く気もおきず、横になっていたという気持ちでした。

そのような状況でしたが、レメディーキットを常備していたため、症状に合わせてレメディーをとることができ、長引くことなく回復することが出来たと思っています。

期間は、症状に合わせてレメディーを摂りながら、激しい症状は約2日、軽い症状は約1週間、回復まで約2週間、でした。

今回撮ったレメディーやタイムラインを下記に記載しています。

### 今回の体験を経験して

寅子先生の講演等でコロナの知識を得ていたため、ホメオパシーのレメディーである程度のことは対応できると思っていました。発症後も「症状はありがたい」という言葉とともに免疫の強化と体のデトックスに役立ったと思い、不安なく症状に対応でき回復することができました。

また、家族でホメオパシーを使っていると熱が出たり体が痛くなると何も考えられず、動く気にもなれないなど時がありましたが、自分達で選んでレメディーを摂ってもらえることが出来たのはよかったと思います。

この時レメディーキットに貼るレメディーシートも役立ちました。子ども達がレメディーを選ぶのに私達に聞かなくても撮っていたようです。

### 症状と対応するために撮ったレメディーとサポートチンクチャー

- 高熱、痛みに: Bell.(基本キットより)
- 風邪の初期症状に: Acon.(基本キットより)
- 体の炎症に: Ferr-p.(基本キットより)
- インフルエンザ様症状に: Gels.(基本キットより)
- 肺炎予防に: サポート肺炎-オミクロン
- 高熱が続く時に: Pyrog.(キッズキットより)

頭痛に: Bry.(基本キットより)  
偏頭痛に: Nat-m.(基本キットより)  
副鼻腔の炎症からくる頭痛に: Kali-bic.(基本キットより)  
味覚、嗅覚の感覚鈍磨に: Zinc-m(バイタルキットより)

日本豊受自然農の「海幸彦」と「焼き塩」も役立ちました。回復にはミネラル補給が必要ですが、手軽に、食欲なくともとることが出来ました。

妻は、海幸彦を飲んで「無茶苦茶美味しい。身体に染み渡ってゆくのがすごい分かる。」とっていました。

## 〇タイムライン

### 1日目

(帰宅した翌日を1日目とした。)

家族: 全員元気。食欲もあり、しっかり食べて1日を過ごす。

### 2日目

私: 朝、倦怠感。体温 37°C前半。昼から 38°C台。体の関節部と喉の痛みが出る。

妻: 夜、発熱、腰の痛み、食欲がなくなる。

子ども達: 元気。

私は、朝起きると、倦怠感があり、体温も 37°C前半と少し高め。この時は、旅行疲れか熱中症と思い、熱症状に Bell.を摂って横になっていました。

昼になると関節部と喉の痛みが出てきました。風邪の症状に Acon.と体の炎症に Ferr-p.を摂りました。

夜になり全身に骨に響くような強い痛みが出てきてと体温が 38°C台になりました。

痛みでじっと寝てられなかったので、痛みを Bell.をリピートして寝ていました。

妻は、夜に、腰が痛み、倦怠感、食欲も無くなってきたようでした。夜中になると体温が上がり、腰が痛くて寝られなかったそうです。私が摂っていたレメディー(Bell.と Ferr-p.と Acon.)をとると寝ることが出来たそうです。

### 3日目

私: 倦怠感はあるが、軽く動けるくらいに回復。

妻: 体温 38°C台。体全体が痛い。

子ども達: 夕方から発熱(38°C台)39°Cまで上がる。食欲なし。

私は、レメディーのおかげか、軽く動けるくらいに回復。無理はせず休み休み動く。

妻は、朝、体温 38°C台。体の痛みで動けず横になっていました。

体温が高く、体中が痛い、倦怠感。「前にインフルエンザになった時みたい。噂のコロナかな。」と思い、インフルエンザ様の症状に Gels.を摂ったら、すぐに寝たようでした。起きた時、寝たという記憶がなく、少し身体は楽になる。(好転反応?)

また、肺炎を起こしたこともあり、サポート肺炎-オミクロンをこの時から摂ってもらいました。

子ども達は、体温が 38°C→39°Cまで上がる。この時は、Bell.と Gels.と Ferr-p.を摂らせてる。食欲もなく翌日まで寝ていました。

#### 4日目

私: ほぼ回復。日常生活に戻る。

妻: 微熱。倦怠感は残る。頭痛と感覚鈍麻が出る。

子ども達: 朝は体温 38°C後半。昼から回復。

私は、ほぼ回復。元気も出てきた。

妻は、高熱が続くため Pyrog. を摂りると体温が落ち着いてきました。しかし、体温とともにあった頭痛は残るようでした。Bry. を数回リピートしてとると楽になってきましたが、痛みがおでこから目の周りとかめかみのあたりに移動したようでした。偏頭痛のような症状に Nat-m. と副鼻腔からの炎症からきている痛みと思い、Kali-bic. を摂りました。そうすると動けるようになってきました。

頭痛が落ち着くと、味覚と嗅覚が鈍っていることに気付く。炎症で亜鉛不足と考えてティッシュソルトの Zinc-m. の摂り始めました。また、豊受商品の「海幸彦」と「焼き塩」も一緒にミネラル補給のため摂っていました。

子ども達は、午前中寝ていたら回復。昼からは元気になっていました。

#### 5日目～9日目

私: 回復。たまに咳がでる。

家族: 元気になってきたが、体力はまだ戻っていない。咳はたまにするが、食欲もあり、しっかり食べて寝てました。

この頃になると、症状も落ち着いてきました。しっかり栄養を摂ってしっかり寝て体の回復をしていました。

#### 10日目

私: 症状もなく、日常生活を過ごす。

妻: 症状は落ち着いていたので出かけたが、体力がまだ戻っていないようで、歩くと息切れがあった。

子ども達: 症状もなく、日常生活を過ごす。

この数日後には、妻の息切れも改善し、全員無事に回復しました。